

JSAF - SR カテゴリ-3 チェックシート (2002 - 2004)

			タイトル	チェック項目	個数	チェック	推奨	備考
1	1		基本規定	JSAFスペシャルレギュレーション、そして基本規定を知っているか。	-	-	-	
1	2		基本規定	上記をクルーに周知徹底しているか。	-	-	-	
2	3	1	基本条件	適切な機能を有し、定期的を確認し、即座に使用できる場所にあるか、使用目的、大きさに適合する形式、寸法、容量のものであるか。	-	-	-	
2	3	2	基本条件	インサイドバラストの取り付けは強固に固定されているか。	-	-	-	
2	3	2	基本条件	ガスボトル、ストーブの固定はされているか。	-	-	-	
2	3	2	基本条件	燃料タンク、清水タンク、その他のタンクの固定はされているか。	-	-	-	
2	3	2	基本条件	バッテリー、整備用工具の容器は固定はされているか。	-	-	-	
2	3	2	基本条件	アンカーの固定はされているか。チェーンとアンカーは繋がっているか。	-	-	-	
2	3	3	基本条件	両色灯、船尾灯、3色灯の点灯の確認はしたか。	-	-	-	
3	1		構造条件	強固に建造され、水密な構造になっているか。	-	-	-	
3	1		構造条件	シュラウドが取り外し可能ではないか。	-	-	-	
3	2	1	水密性	ハルは完全な水密で、開口部は即座に基本的な水密を保てるか。	-	-	-	
3	4	4	復元性	スタビリティインデックス又はLPSの数値を知っているか。	-	-	-	ISO C 対比
3	6	1	非常出口	2つの脱出口を持ち、一つはマストより前にあるか。	-	-	-	8.5m以上 1//95以降
3	8	1	ハッチ	最大幅より前のハッチは外側に開くタイプであるか。	-	-	-	0.071m2以下は除く
3	8	2	ハッチ	ハッチは90°ヒールした状態でも水面上にあり、180°転覆しても確実に閉鎖状態を保てるか。	-	-	-	
3	8	3	ハッチ	即座に閉じられて、水密であるか。コンパニオンウェイがメインデッキより下に及んでいる構造の場合、開口部の横ではシャーラインまでで水が入らない状態になっているか。	-	-	-	
3	8	3	ハッチ	ウォッシュボードを開けても艇内に出入り可能か。	-	-	-	
3	8	4	ハッチ	コンパニオンウェイハッチは内外から強固に締め切れる、流れ止めは付いているか。	-	-	-	
3	9	1	コックピット	コックピットは信頼に値する堅牢さで、自然排水が可能か。	-	-	-	
3	9	2	コックピット	コックピットコックピットに通じる艇体開口部は強固に閉め切りが可能か。	-	-	-	
3	9	3	コックピット	ビルジポンプの排水管がコックピット排水管に接続されていないか。	-	-	-	
3	9	4	コックピット	コックピットの床はLOAの2%以上、LWLより上方にあるか。	-	-	-	
3	9	5	コックピット	パウ、側面、中央、スターンのいかなるウエルもコックピットと見なされる、3.09を適用。	-	-	-	
3	9	6	コックピット	コックピットは後方開口部の面積は最大深さ×最大幅の50%以上か。	-	-	-	
3	9	7	コックピット	コックピット容積はSR3.09.7の規格に則った構造となっているか。	-	-	-	艇の製造年により異なる
3	9	8	コックピット	コックピット排水はSR3.09.8の規格に則り製造されているか。	-	-	-	艇の製造年により異なる
3	10		シーコック	水線以下の開口部には全部シーコックがバルブを取り付けているか。	-	-	-	スピード、デブスメーターは必要に応じて穴が塞げるか
3	11		シートウインチ	シートウインチはデッキより下に取り付けられていないか。	-	-	-	
3	12		マストステップ	マストはステップに固定されているか。	-	-	-	
3	14	2	a ライフライン	ピンと張られ、支持点の間で50N(5.1kg)をかけて50mm以上変形しないか。	-	-	-	
3	14	3	a バルビット	ヘッドステイより前方あるパウバルビットの上方のレールはヘッドステイより405mm以内で閉じているか。	-	-	-	8.5m未満のヨットではヘッドステイより後方に設置可
3	14	3	b バルビット	スターンバルビットがあるか。(適切なライフラインでもよい)	-	-	-	
3	14	3	c ライフライン	ライフラインはデッキ上を連続して、効果的に囲んでいるか。	-	-	-	
3	14	3	c ライフライン	ライフラインの間隔は2.13m以内の間隔で恒久的に支持されているか。	-	-	-	
3	14	3	c ライフライン	ライフラインはスタンションの外側を通過してはいないか。	-	-	-	
3	14	3	d バルビット	バルビットの一番上のレールは表7で要求される上段ライフライン高さより高いか。	-	-	-	
3	14	3	e バルビット	レース時はパウバルビットの一番上のレールは確実に閉じておけるか。	-	-	-	
3	14	3	f バルビット	バルビットとスタンションのデッキへの固着は完全か、固着は通しボルト、溶接、接着によること。	-	-	-	
3	14	3	g バルビット	スタンションは最大船幅の5%又は150mm以上内側に取り付けは不可。	-	-	-	
3	14	3	h バルビット	スタンション基部はワーキングデッキより外側に出てはいけない。	-	-	-	
3	14	3	i ライフライン	ライフラインはワーキングデッキを囲み、スタンションとバルビットに支えられているか。	-	-	-	
3	14	3	j バルビット	パウバルビットに固定されていないライフラインはパウバルビットの内側にオーバーラップしているか。	-	-	-	

3	14	3	j	ライフライン	上記の場合上段のライフラインとバルビットとの間隔は150mm以内。	-	-	
3	14	3	k	スタンション	スタンションの傾き、曲がりのチェックはしたか。 デッキ上方50mm以内では水平移動10mm以下。	-	-	
3	14	3	k	スタンション	スタンションはデッキ上方50mm以上のいかなる点でも垂直よりの傾きは10°以下。	-	-	
3	14	5		ライフライン	ライフラインの数と垂直方向の開口寸法は3.14.5表7に則っているか。	-	-	
3	14	6	a	ライフライン	ライフラインはステンレスの縫い線で3.14.6表8を満足しているか。	-	-	
3	14	6	a	ライフライン	99/1以降に取り付けられたライフラインはコーティングはとってあるか、 びったりとしたスリーブ不可。	-	-	
3	14	6	b	ライフライン	316グレードのステンレスワイヤーを推奨。	-	-	
3	14	6	c	ライフライン	ライフラインを張るためのラニヤード部分は100mm以内か。	-	-	
3	14	6	d	ライフライン	ライフラインの囲みを構成する全ての材質は3.14.6表8に 適合する強度を持っているか。	-	-	
3	14	7		スタンション	スタンション、バルビット、ライフラインの材質は3.14.7表9に則っているか。	-	-	
3	17	1		トーレール	マストから前に25mm以上のトーレールがしっかりついているか。	-	-	デッキの端より各所のビー ムの1/3より内側は不可
3	17	2		トーレール	トーレールの仕様はシリーズデートにより3.17.2表10による。	-	-	
3	18	2		トイレット	トイレはしっかり取り付けられているか、固定されたバケツ、 ポータブルトイレ可。	-	-	
3	19			寝台	寝台は恒久的に取り付けられたものか。	-	-	
3	20	1		炊事用装備	炊事用ストーブは安全強固に取り付けられており、航海中安全に 使用でき、近づき易い燃料閉止装置を有すること。	-	-	
3	21	3		非常用飲料水	専用の複数容器に9リットルの非常用飲料水を搭載。	-	-	
3	22			ハンドホールド	デッキ下にハンドホールドが適切にあるか。	-	-	
3	23	1		ビルジポンプ	オープンコックピット以外の艇で、ビルジポンプからコックピットに 排水していないか。	-	-	
3	23	2		ビルジポンプ	ビルジポンプの排水管がコックピット排水管に接続されていないか。	-	-	
3	23	3		ビルジポンプ	ビルジポンプが、詰まったときに簡単に整備できる位置に取り付け られているか。	-	-	
3	23	4		ビルジポンプ	ビルジポンプのハンドルに流れ止めが付いているか。	-	-	
3	23	5	d	ビルジポンプ	恒久的に取り付けられたビルジポンプが1台ハッチ・コンパニオン ウェイを閉めた状態で使用できること。	1	-	
3	23	5	f	ビルジバケツ	9リットル以上のバケツが2個以上あり、そのバケツにラニヤードが 付いているか。	2	-	
3	24	1	a	コンパス	磁気型で固定された、修正済みのマリンコンパスがあるか。	1	-	
3	24	1	b	コンパス	3.24.1.aを満足する予備コンパス1台。(専用台に収めたハンドコンパス可)			
3	25			ハリヤード	マストに取り付けられた2本以上のハリヤードがあるか。	2	-	
3	27	1		航海灯	航海灯がセールやヒールによって隠されない位置に取り付けられ ているか。	-	-	
3	27	2		航海灯	デッキレベルより下に取り付けられていないか。	-	-	
3	27	3		航海灯	航海灯の明るさは3.27.3表11を満たしているか。	-	-	
3	27	4		航海灯	3.27.3を満足する予備航海灯と予備電源をもつこと。 電源および配線は通常の航海灯とは別であること。	-	-	
3	27	5		航海灯	航海灯の予備電球を持つこと、電球によらない場合は適切な スペアーを持つこと。	-	-	
3	28	1		エンジン	カバーされたインボードエンジンで恒久的に固定された排気系統 燃料系統、燃料タンクを持つこと。	-	-	
3	28	2		発電機	独立した発電機は任意だが恒久的に取り付け、恒久的に固定さ れた排気系統、燃料系統、燃料タンクを持つこと。 独立した発電機は3.28.3.c-eを満足すること。			
3	28	3	a	エンジン	最低1.8 LWL(m)ノットもしくは LWL(ft)の艇速を出せること。	-	-	
3	28	3	b	エンジン	レース実施要綱に規定が無い場合、8時間の航走とレース期間 充電に要する燃料を搭載、独立した発電機の場合、必要な燃料。	-	-	
3	28	3	c	エンジン	荒天による影響から適切に保護されていること。	-	-	
3	28	3	d	エンジン	電気始動が唯一の方法の場合、始動用の独立したバッテリー。	-	-	
3	28	3	e	エンジン	個々の燃料タンクに閉鎖バルブ設置、恒久的設置と内張りや裏 打ちの無いフレキシブルタンクは不可。	-	-	
3	28	4		バッテリー	シールドバッテリーは仕様に適合する専用充電装置を搭載。	-	-	
3	29			通信設備	新しい通信設備を購入する場合はGMDSSやDSC設置を推奨。	-	-	
3	29	1	a	通信設備	船用無線送受信機がVHFの場合、25W以上、マストヘッドアン テナ、損失40%以内の同軸線、71ch72ch装備。	-	-	

3	29	1	b	通信設備	マストヘッドアンテナの場合、他の緊急用予備アンテナ。	-	-	
3	29	1	d	通信設備	気象通報が受けられるラジオを持っているか。	1	-	
3	29	1	f	通信設備	自動船位決定装置(例えばGPS)装備。	1	-	
3	29	1	g	通信設備	通信可能な範囲のレースではVHFに代わる携帯電話を持つこと、艇電源から充電可能、水密ケース、可能ならば外部アンテナ。	-	-	
4	1	1		船体表示	セールにセールナンバーが入っているか、RRS77およびアベンディックスG参照。	-	-	
4	1	2		船体表示	ナンバーの無いセールがセットされている場合でも別の手段で示せること。	-	-	
4	3			木栓	各バルブに適切な使用に耐えうる木栓が用意されているか、バルブの近くに収納する。	-	-	
4	4	1	a	ジャックステイ	船の中心線に対し左右舷に設置、取り付けはデッキ貫通ボルトか溶接された、もしくはデッキに埋め込まれた強固な金具による。	-	-	
4	4	1	a	ジャックステイ	ジャックステイは1×19の5mmワイヤーか同等強度の布ベルト。	-	-	20KN(2040kg)の強度
4	4	1	a	ジャックステイ	ステンレスワイヤーの場合1/99以降コーティング無し、スリーブ無し。	-	-	
4	4	2	a	クリッピングポイント	長時間作業場所には十分に強度のあるクリッピングポイント用意。	-	-	
4	4	2	b	クリッピングポイント	デッキに上がる前にクリップでき、クリップしたままあるいは最小限のクリップでデッキからワーキング位置、船側から船側へ移動可。	-	-	
4	4	2	c	クリッピングポイント	ジャックステイによらずに2/3のクレーが同時にクリップ可。	-	-	
4	4	2	e	クリッピングポイント	Uボルト型のクリッピングポイントは5.02.1a参照。	-	-	
4	5	1		消火設備	消火器は2個以上で、適切に配置、固定されすぐに使用できるか。	2	-	
4	6	1		アンカー	4.06.1表12に示す適切な大きさのアンカーとチェーン、ラインが搭載されているか。	-	-	アンカーとチェーンはシャックルで繋がれていること
4	7	1	a	フラッシュライト	予備電池、予備電球を持つ防水型ハイパワーのフラッシュライトかスポットライト。	-	-	
4	7	1	b	フラッシュライト	フラッシュライトは防水型で、予備電池、予備電球を持つこと。	-	-	
4	8			救急法	救急法の説明書を持っているか。	-	-	
4	8			救急法	救急キットを持っているか。	-	-	
4	8			救急法	救急キットは携行している説明書に沿った内容と、船の状況に人数、期間に相応しい量となっているか。	-	-	
4	8	4		救急法	乗員の最低一人は海上での医学的緊急対応に詳しく、外部からの医療アドバイスを受けるために無線通信に詳しいか。	-	-	
4	9			フォグホーン	フォグホーンを持っているか。	-	-	
4	10			レーダーリフレクター	レーダーリフレクターは対角線の長さが456mm以上、若しくは反射面積が10㎡以上か、海面から4m以上の位置に取り付ける。加えてレーダー反射増幅器の使用を推奨する。	-	-	
4	11	1		航海設備	艇の航海に必要な海図があるか。電子海図のみは不可とする。	-	-	
4	11	1		航海設備	最新の灯台表はあるか。	-	-	
4	11	1		航海設備	海図作業用具一式はあるか。(三角定規、デバイダー等)	-	-	
4	12			航海設備	安全備品格納表がメインキャビンに見やすく表示されているか。	-	-	
4	13			航海設備	測深儀、又は測深索を持っているか。(水深が測定できるものがあればよい)	-	-	
4	14			速度計	速度計または距離測定儀(ログ)を装備。	-	-	
4	15	1	a	応急操舵装置	金属製で破損しないティラー以外舵軸につける非常用ティラー。	-	-	
4	15	1	b	応急操舵装置	ラダーが無くなった場合いかなる海象でも1以上の代替のステアリング方法を証明、インスペクターは実演を要求のこと。	-	-	
4	16			工具・予備部品	スタンディングリギンカッターを持っているか、何ミリまで切れるか。	-	-	
4	16			工具・予備部品	その他の工具・予備部品はあるか。	-	-	
4	17			艇の表示	浮力のあるすべての物に艇名が書いてあるか。	-	-	
4	18	1		艇の表示	ライフブイおよびその他の非常時に用いる浮力体に平行反射材が付いているか。	-	-	
4	22	1	a	ライフブイ	ドロ-グ、自己点火灯の付いているライフブイか、自己点火灯付きライフリングがあるか。	1	-	
4	22	3		ライフブイ	全ての膨張式ライフブイあるいは全自動式装置は定期検査を行う。	-	-	
4	22	4		ライフブイ	全ての膨張式ライフブイまたはライフリングには平行反射材が付いているか。	-	-	
4	23	1		信号焔	信号紅炎1個搭載。	1	-	
4	23	1		信号焔	小型船舶用自己点火灯1個搭載。	1	-	
4	23	1		信号焔	小型船舶用自己発煙信号1個搭載。	1	-	
4	23	1		信号焔	小型船舶用火せん2個搭載。	2	-	

4	23	1	信号焰	発煙浮信号1個搭載。	1	-		
4	24		ヒービングライン	長さが15~25mで、コックピットの手の届くところにあること。スローイングソックタイプを推奨。	-	-	アベンディックスD参照	
4	26	1	ストームセール	ストーム、ヘビーウェザーセールは設計者とセールメーカーに相談して安全を優先すること。	-	-		
4	26	2	a	ストームセール	目立つこと。見分けやすい色で作るか、両面に見分けやすい当て布をすること。	-	-	
4	26	3	b	ストームセール	ストーム・ヘビーウェザージブの素材はアロマティック系やカーボン系の類は禁止。	-	-	スペクトラとダイニーマは可
4	26	4		ストームセール	ストーム・ヘビーウェザージブのシーティングのデッキ上の適切な個所は確認しているか。	-	-	
4	26	5		ストームセール	ステーに装着の方法を知っているか。ラフグループ装着は不可。	-	-	
4	26	8		ストームセール	ヘビーウェザージブの面積はフォアトライアングルの正方形の面積の13.5%以下。リーフポイント不可。	-	-	
4	26	8		ストームセール	フォアステーの無いヨットでは適切な装着方法があること。	-	-	
4	26	9		ストームセール	4.26.6のストームトライスルがラフ長をさを少なくとも40%リーフ出来るメインセールリーフをもつこと。	-	-	
5	1	1	ライフジャケット	5.01.1abcdeを満足するライフジャケットを各乗員に1個づつ搭載。	乗員数	-		
5	1	1	ライフジャケット	反射材とホイッスル装着、ハーネス装着との両立。	-	-		
5	1	1	ライフジャケット	艇名か着装者名が書いてあるか。	-	-		
5	1	1	ライフジャケット	インフレーターの場合の定期気密検査がされているか。	-	-		
5	1	2	a	ライフジャケット	SOLAS LSA2.2.3による0.75カンデラ以上、8時間以上持続の白色発光体の装着を推奨。	-		
5	1	2	b	ライフジャケット	150N以上の浮力、意識不明の状態では顔面が水面から45度の角度で上向きになるものを推奨。	-	E N396に適合を推奨	
5	1	2	c	ライフジャケット	腿紐または股紐の装着を推奨。	-		
5	1	2	d	ライフジャケット	スブラッシュガードを推奨。	-		
5	2	1	ハーネス	両端にスナップフックの2mのテザーのついたセーフティーハーネスを各乗員に1個づつ搭載。	乗員数	-		
5	2	1	a	ハーネス	警告 スナップフックには確実なロックを装着を強く推奨。	-		
5	2	2		ハーネス	30%以上の乗員は1m以下のテザーを持つが、2mのテザーの中間にスナップフックをもつこと。	-	-	
5	2	3		ハーネス	1/01以降に購入のテザーについては過重負荷がかかった場合色が変化する警告糸を縫いこむ。	-	-	
5	2	3		ハーネス	同上で警告が出たら緊急に交換する。	-	-	
5	2	4		ハーネス	乗員間のハーネスとライフジャケットは互換性があること。	-	-	
5	2	5	a	ハーネス	ハーネスとテザーはISO 12401に準拠することを強く推奨。	-		
5	2	5	b	ハーネス	ワークステーションでは固定個所にしっかり固定できることを強く推奨。	-		
5	2	5	c	ハーネス	股紐または腿紐がついていることを強く推奨。	-		
5	2	5	d	ハーネス	ハーネスとテザーの縫い糸は廻りの材料よりコントラストの強い色を強く推奨。	-		
5	2	5	e	ハーネス	クリップポイントでフックが簡単に外れないことを強く推奨。	-		
5	2	5	e	ハーネス	過重がかかった状態で胸のところで簡単に解除できることを強く推奨。	-		
5	2	5	f	ハーネス	乗員はレース前にハーネスの調整を済ませ、レース終了まで維持できることを強く推奨。	-		
5	4	b	荒天用衣料	マリグレートの光を反射する材料で出来ており、上部と袖には目立つ色が使われていること。	-	-		
6	1	a	トレーニング	乗員全員が5年に1回は個人のサバイバルトレーニングを受けることを強く推奨。	-			